

○平成30年8月8日 総合防災対策特別委員会の第1回現地視察を行いました。

県議会の特別委員会では、毎年テーマを定めて審査を行っております。

総合防災対策特別委員会では、今年度のテーマを「地域防災体制の充実・強化について」及び「地震・津波対策とため池の防災対策について」と定めており、今回、4カ所の現地視察を行いました。

まず、高松市防災合同庁舎（高松市番町）において、災害時等における関係部局との連絡体制の概要について説明を受け、河川の河口部分における管理者等について質疑を行いました。

その後、JR四国本社（高松市浜ノ町）において、7月豪雨時の対応等、JRの防災対策の概要について説明を受け、被害額等について質疑を行いました。



次に、奥池（綾川町滝宮）において、7月豪雨による奥池の被災の概要について説明を受け、今後の復旧工事の内容等について質疑を行いました。



最後に、金倉川（まんのう町岸上）において、7月豪雨による金倉川の被災の概要等について説明を受け、この地域が被災を受けた原因等について質疑を行いました。

